

# 一般質問発言通告書

発言順位 / 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和2年2月18日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 6番 村田 耕一



質問事項1	子育て支援
具体的内容	
国は双子や三つ子といった多胎児を育てる家庭を支援するため2020年度より育児サポーター派遣事業を始める。不妊治療の普及もあり全国では出生数に占める多胎児の割合は1980年の1.2%から2018年は2.0%に増えていて、支援策の実施主体は市区町村となり、国が費用の半額を補助するものになる。また児童虐待について児童虐待防止法改正法の施行が2020年4月からとなるが、現状を伺う。	
1 三島市ではみしまめ育児サポーター派遣事業をすでに実施しているが、その拡充について伺う。	
2 社会全体とりわけ地域の雰囲気の子育てしやすいようにしなければならないが施策を伺う。	
3 当市の虐待相談件数に対して、家庭児童相談室の体制の拡充を求めるがいかがか。	
4 虐待の発生予防として保護者支援の充実について伺う。	
質問事項2	スマート市役所の内容
具体的内容	
三島市は令和元年12月にスマート市役所実現に向けてスタートしていて、まずはAIスタッフ総合サービスが導入されている。利用してみたが、ストレスなく必要な項目にたどり着けるものになっていると思う。AIを導入する側面には2つの面があり1つには住民サービスの向上で市民の方の手続きのストレスを少なくすること、もう1つには作業負荷軽減がある。そこでAIに移行できる業務について伺う。	
1 市民サービスの利便性向上のため、AIによる自動応答システムで対応できるサービスは何か。	
2 事務作業の増加で担当職員の負担が多くなっている事務でAIで改善できる事務は何か。	
3 裾野市は「デジタル裾野研究会」を設立し市のICT戦略にかかわる識者を中心者としているが三島市でもチームの設置が必要ではないか。	
質問事項3	三島駅周辺事業
具体的内容	
三島駅南口西街区の富士山三島東急ホテルが6月30日に開業予定でツインベット以上の部屋が7割であり地元産の食材を使用したレストランや最上階の富士山を望む展望温浴施設などを特徴として三島や周辺地域の魅力紹介を国内外に発信してくれるという。そこで東街区の再開発のこれからと南北自由通路について伺う。	
1 南北自由通路の実現に向けた経過を確認したが、調査費も計上して平成15年度から平成23年度まで検討され、平成23年度末にこれしかないという案も事業仕分け、協議会で白紙化され市としても白紙化を決定して当面自由通路の実現は不可能であるとされていると思う。この状況は変わっているのか。	
2 三島駅南北移動環境の改善に向けたアンケート調査を2月12日まで実施したが、南北自由通路の実現は不透明なのに今この調査を行う目的はなにか。	
3 未来都市ウーブン・シティとの連携、また県や裾野市との連携をどう行っていくか伺う。	

# 一般質問発言通告書

発言順位 2 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 2年 2月 18日

三島市議会議長 大房正治様

三島市議会議員 5 番 佐野 淳祥



質問事項 1	10年後の活気ある三島市を目指して
具体的内容	このところ、市内の経済界では、沼津市や熱海市の経済的観光的状況の向上、裾野市の「コネクティッド・シティ」などにより、相対的に三島市の優位性が影を潜めていると言われています。市役所の建て替えも本年度より市民との意見交換が始まり、現在地から移動する可能性もあり、さらに「コネクティッド・シティ」が設置されれば、三島駅北口の役割が高まることから、三島駅を中心とした北口と南口に重心が置かれ、それ以外が衰退してく心配もあります。
	いよいよ駅前再開発が2025年の完成に向け、表立って動き出します。中心市街地はこれから10年間で大きく変動する時期となります。期待に沸く一方、中心市街地の住民や商業関係者はこのような不安もあります。
	三島市が計画的に発展していくために、以下のように質問します。
	1. 大通り商店街と周辺商店街の近況について
	2. 一番町のアーケードと電柱地中化について
	3. 「コネクティッド・シティ」と三島駅を結ぶ新たな取り組みはあるのか。
	4. 北上地区のバス利用者が、駅南側をそのまま回遊できるよう、きたうえ号とせせらぎ号の一体運行を求めるが、課題は何か。
	5. 高齢者バス等利用助成券は、各社のバスやタクシーで利用できるが、これを商店街等のサービスに利用できないか。
	6. 中心市街地循環バスせせらぎ号の延伸実証実験が実施されるようになりました。これまでの平均乗降者数を上回ることに期待がされますが、課題は何か。
	7. 乗り継ぎをスムーズにするために、一定時間内のフリーチケット制を導入できないか。
	8. 大きく変貌する中心市街地の将来像を描く、中長期の計画策定を求めるがいかがか。
質問事項 2	保育士確保について
具体的内容	かくれ待機児童が三島市でも多く発生していることで、その解消には保育士の確保が先決との質問を前回の議会で行いました。無料職業紹介事業が全国の自治体で実施されているが、三島市でも特に喫緊の課題である保育士不足を解消するために、この一部の機能の導入をし、地理的要件をクリアしている市内への就職希望者へ募集案内をして、民間保育園の保育士確保の支援をするべきだと思います。以下について質問します。
	1. 本市の令和2年度公立保育園保育士募集には、何人の定員に対し何人の応募があったのか。
	2. 無料職業紹介事業で、民間保育園の保育士募集案内を伝え、斡旋することはできるか。
質問事項 3	子どものオリンピック参画
具体的内容	オリンピックの聖火リレーは市民が一番身近に体感できる貴重な機会です。特に子どもたちには大人になった時に、「三島市でオリンピックに参加した！」と言えるよう、聖火リレーに参画できればと思いますが、以下に質問します。
	1. 市内での東京オリンピック聖火リレーの日時・場所・走者・企画など計画について
	2. 聖火リレー当日は市内の子どもたちが参画できることはあるのか。または休校とすることはできないか。

# 一般質問発言通告書

発言順位 3 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和2年2月18日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 17番 甲斐幸博



質問事項1	東京オリンピック・パラリンピックの対策について
具体的内容	
いよいよ、今年の7月より東京オリンピック・パラリンピックが始まります。	
全世界から三島市に大勢の方々が集まって参ります。開催地の伊豆市や小山町などに行く、玄関口となる三島市は、その為の「おもてなし」の準備が必要です。	
三島市としてどのような対策を行っているのか伺います。	
1、市内の飲食店などで、言葉の問題をどう対応するのか。	
2、三島駅周辺に集まる外国人の方々に対する案内等の対策をどうするのか。	
3、猛暑が予想されます。熱中症の対策をどのように行うのか。	
4、病院との連携についてどのように考えているのか。	
5、三島駅南口周辺の風紀や環境対策について、どう考えているか。	
6、三島市の魅力を発信する絶好のチャンスだが、取り組みについてどう考えているか。	
7、三島市の予算及び国や県からの予算確保に向けた取り組みは。	
質問事項2	コミュニティ・スクールの導入について
具体的内容	
コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんが、ともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいたものです。	
この事について、三島市では、令和2年1月10日に「三島市総合教育会議」で来年度から、小中各1校をモデルに導入する計画を明らかにしました。	
三島市として、今後どのように進めていくのか伺います。	
1、どのような機能（目的への貢献）が期待出来るのか。	
2、運営委員会の主な取り組みについて	
3、子どもへの対策など、どのような改善が出来るのか。	
4、特色のある学校とは、どのような学校と考えているか。	
質問事項3	後付け安全運転支援装置設置費補助金について
具体的内容	
全国的に、高齢者ドライバーの運転操作の誤りによる、重大な交通事故（死亡・重傷）が多発しています。	
免許証返納を進める事が基本的考えであると思いますが、現実問題日常生活に自動車の運転を必要としている高齢者ドライバーを対象として、既販売に対して後付けで設置する、ペダル踏み間違い等による急加速抑制装置の設置を促進し、高齢ドライバーの事故防止及び事故時の被害軽減を目的とした補助制度を検討していただきたいと考えますが、この事について伺います。	
1、免許証返納について、どのような取り組みを行っているか。	
2、三島市の免許証返納の実績について	
3、後付け安全運転支援装置設置費補助金について検討してみてもどうか。	





# 一般質問発言通告書

発言順位 6 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和2年2月18日

三島市議会議長 大房 正 治 様

三島市議会議員 2 番 石 井 真 人



質問事項 1	三島市の長期財政計画の整合性
具体的内容	三島市の長期財政計画が平成30年10月12日に発表されてから1年4ヶ月経過する中で、平成30年度決算、平成31年度予算と令和2年度予算案が作成され、本市における歳入と歳出の計画が実績値となり数字が明確になってきた。計画時の予測値と実績値の違いを伺う。
	1. 歳入・歳出と計画と予測の違いに関して、金額の違い（乖離幅）にはどのくらいの差が生じているのか。
	2. 国基準に合わせた扶助費の見直しの検討状況についてその後の経過は。
	3. 平成28年から令和26年（平成56年）までの税収の28年間の一般財源の過不足見込額を現状は約87億5千万円のプラスと計画しているが、実績値を基にシミュレーションしなおした場合いくらに変更になるのか。
質問事項 2	三島駅南口再開発事業について
具体的内容	三島駅南口東街区再開発事業にて、速報値ではあるが、社会資本整備交付金の申請に用いる費用便益分析結果は1.13、国基準に合わせた現在価値を用いた税収効果評価結果では再開発事業と定期借地事業の黒字転換が40年目と具体化された。そこで伺う。
	1. 他市開発事業に比べて費用便益分析結果が悪く、公益性や収益性の見込みの低い本事業について令和2年7月に都市計画決定を慌ててするのではなく、他市事例を研究するなど事業内容の見直しをすべきでないのか。
	2. 税収効果評価結果から黒字転換が40年かかる事業であることがわかり、再開発直後に南北自由通路を実施できるような財政の根拠はあるのか。現状、長期財政計画には盛り込まれていない。
	3. 再開発事業アンケートについてなぜ市民意識調査や南北自由通路調査と同様市民2,000人を対象とした調査を実施していないのか。市民ニーズを把握する意味でも実施した方が良いのでは。
	4. 駅前のコンセプトを広域交通の結節点かつ広域健康医療拠点としているにもかかわらず、大型バス用の駐車スペースがないなど、身体障がい者の方などの乗降者にとって利用しづらい現状があるにも関わらず、再開発事業に駅ロータリーの改善を含まないのはなぜか。
	5. 地域公共交通網形成協議会の中で、なぜJR東海が入っていないのか。駅の広域交通の結節点としての機能や南北自由通路を検討するにはJR東海を協議会メンバーに含めた方がよいのでは。
質問事項 3	三島市の目指すスマートシティとは
具体的内容	令和元年12月23日にスマート市役所宣言を行い、広報情報課の新設、新庁舎建設事業の調査費などを予算に盛り込み、Society5.0で実現するスマート社会を目指すとしているが、三島市が将来どのようなスマートシティを目指しているのかを伺いたい。
	1. 駅前再開発（コンパクトシティ）とトヨタのWoven City（スマートシティ）の整合性は。スマートシティを目指すのであれば、トヨタのスマートシティに合わせて駅前再開発コンセプトを見直した方がよいのでは。
	2. ファシリティマネジメントにて統廃合する施設を明確にしていない段階で新庁舎建設の調査を先に進めるのはなぜか。
	3. 再開発や新庁舎建設など新施設の負担増により財政の圧迫が予想される中、スマート市役所を突き詰めた場合に、大きな市庁舎は必要ないと考えるがその点はどうか。

# 一般質問発言通告書

発言順位 7 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

2020年 2月 18日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 20 番

宮下 知朗



質問事項 1	GIGA スクール構想実現に向けた取り組みについて
具体的内容	
<p>1月30日参議院本会議にて、児童生徒向けの1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するための経費2,318億円が盛り込まれた令和元年度補正予算案が可決・成立し「GIGA スクール構想」の実現に向けた取り組みがスタートする。</p> <p>ICT は仕事や家庭など社会のあらゆる場所において日常的に活用され、生産性や利便性の向上に寄与していることから、学校教育への導入が「多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びにも寄与するもの」「特別な支援が必要な子どもたちの可能性も大きく広げるもの」と期待が持てる半面、劇的な変革を遂げる学校の教育環境に対して不安をもつ市民も多いものと推察する。</p> <p>そこで以下について伺う。</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本市がこれまでに実施してきた学校 ICT 環境整備の成果をどのように捉えているのか伺う。</li> <li>2. 政府の掲げる導入スケジュールに沿った対応が可能なのか、使用開始時期について伺う。</li> <li>3. 教職員の ICT スキル、システム障害等への対処を想定した準備状況について伺う。</li> <li>4. 新学習指導要領に基づく授業時間数の増加への対応などを理由に、県内でも「午前5時間制」を実施している小学校がある。本市における導入の可能性について伺う。</li> <li>5. 働き方改革の進捗状況や児童生徒への影響などの観点から、今後の課題について伺う。</li> </ol>	
質問事項 2	東京オリンピック・パラリンピックに向けた「また訪れたいまち」づくり
具体的内容	
<p>いよいよ今夏2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開幕する。静岡県東部地域は自転車競技の開催や国内有数の観光地であることから、交通・観光の結節点として重要な役割を担う三島市には、期間中はもちろんその前後において国内外から多くの方々が訪れるものと推察する。</p> <p>来訪者が安全・安心して移動・滞在していただけるようにすることはもちろん、今回を機に三島の魅力をより強く発信し「また訪れたいまち」とするため以下について伺う。</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大会期間中、その前後において来訪者をどのくらい見込んでいるのか伺う。</li> <li>2. 大会期間中、駅周辺の混雑が予想されるが、駅周辺やトイレ等の混雑緩和策について伺う。</li> <li>3. 三島駅南口樹木に飛来するムクドリに対する対応について伺う。</li> <li>4. 三島の魅力を余すことなく伝え、「また訪れたいまち」とするためのシティプロモーションとして、三島駅構内や三島駅周辺での広告掲示や映像配信ができないか伺う。</li> <li>5. 楽寿園を無料開放し、市内回遊の一助として活用することができないか伺う。</li> </ol>	

# 一般質問発言通告書

発言順位 8 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 2年 2月 18日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 11 番 古長谷 稔



質問事項1	次世代が夢を描ける開発を！大場地区開発可能性調査について
具体的内容	令和2年度予算案（ビジュアル版）に、「市民総参加のまちづくりの推進」の枠組みにおける土地政策推進事業として、大場地区開発可能性調査の業務委託が計上された。対象の土地は、環状道路の大場・函南IC周辺に位置する県立三島南高校の前の市街化調整区域で、19.3ヘクタールある。諸般の経過を踏まえ、昨年7月、長い間の懸案だった地権者（令和元年12月時点162名）の約93%が都市的土地利用に賛成してくれたことを踏まえ、大場地区土地利用推進協議会が市への要望書を提出した。これらを踏まえた、三島市の見解を伺う。
	1. 可能性調査予算計上に至った経過と、都市的利用における問題点や課題について
	2. 「市民総参加のまちづくりの推進」という位置づけと、第3次の都市計画マスタープランにおける地域別構想の検討時に予定される地域別市民ワークショップとの関係について
	3. 当該地の洪水ハザードマップにおける色付けに関して、外水氾濫と内水氾濫の違いと、開発可能性調査における留意点について
	4. 今後、委託を予定している可能性調査の方向性と発注仕様、調査費の内訳について
	5. これらを踏まえた、今後の市の関わり方について
質問事項2	時代のニーズに応えた三島駅南口東街区再開発の実現に向けて
具体的内容	平成24年3月に定めた三島駅周辺グランドデザインには、「戦略」として、「広域的利用を見込み、交通の結節点として駅周辺を活性化」や、「健康・医療を軸に産・学・民・官、それぞれが有機的に連携しながらファルマバレープロジェクトの担い手となり、高度な都市機能の集積や次世代産業を創出」など、現在の計画には見当たらない時代のニーズが記載されている。会派「新政会」ではこの度、他市町議員等へのアンケート調査を実施して周辺市町から見たニーズを把握した。また、三島市民を対象にした市民アンケートも実施し、東街区再開発に対する市民意見を、可能な範囲で把握した。変化の激しい昨今ではあるが、時代のニーズは大きくは変わっていない。これらを踏まえ、以下の問いに対して見解を伺う。
	1. 他市町議員等へのアンケート（新政会として令和元年12月実施）の結果を踏まえ、伺う。 (1) 多くの他市町議員等から、三島駅再開発に対して「公益性の向上」と「交通結節点としての機能」を大いに期待されていることについて (2) 同様に他市町議員等から、三島駅周辺の再開発と同時に、三島駅の南北移動について改善されることが、大いに期待されていることについて
	2. 市が進める三島駅南北移動環境の改善に向けたアンケートの背景と経過、及び結果を伺う。
	3. 三島市民対象の市民アンケート（新政会として令和2年1月実施）の結果を踏まえ、伺う。 (1) 市民の中にある「不安、不満」という感覚をどう解消していくのか。 (市財政、高層マンション、駐車場・交通量、南北自由通路、地下水など)
	(2) 市民の中にある「説明不足」という感覚をどう解消していくのか。 (事業の進め方、市民参加、医療・健康施設、広域性、回遊性など)
	4. 広域健康医療拠点における「健康・医療」の位置づけについて
	5. 再開発計画と裾野市におけるトヨタのネクティッドシティ構想との連携可能性について





# 一般質問発言通告書

発言順位 10 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和2年 2月18日

三島市議会議員 大房 正治 様

三島市議会議員 21番 岡田 美喜子



質問事項1	デジタルファースト実現に向けた取り組みについて
具体的内容	国において、令和元年5月に行政手続きを原則、電子申請に統一するデジタルファースト法が成立しました。引越しや相続、法人設立などの手続きがインターネット上でできるようになります。少子高齢化により人口が減少し、生産年齢人口も減少傾向にある中、インターネットにより手続きや各種申請が簡素化されることは、市民の利便性が向上するほか、効率的に業務運営が行われる利点があります。 三島市においても、便利で質の高い行政サービスと業務の効率化が図られるものと、以下の点について伺います。
	1. デジタルファースト実現に向けた具体的な取り組みについて
	2. 電子申請・届出サービスの運用状況と今後の目標について
	3. 情報発信力の向上について
	4. インターネットに触れる機会の少ない市民や高齢者への対応について
	5. セキュリティ対策について
質問事項2	健康と福祉のまちづくりについて
具体的内容	「三島市子ども子育て支援事業計画」が最終年度を迎え、令和2年度からの第2期計画が策定されていることと思います。人口減少・超高齢社会を迎え、三島市が将来に向かって持続的な発展を遂げるために、若い世代に選ばれ、子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる社会の実現は重要な課題といえます。 また、高齢者が最期まで住み慣れた地域で、生きがいをもって元気に暮らしていくための取り組みも重要です。健康と福祉のまち実現のために以下の点について伺います。
	1. 子どもを産み育てやすい環境の整備について
	(1) 母子健康手帳の交付の現状と課題について
	(2) 結婚から妊娠、出産、育児、教育の切れ目のない家庭の支援体制について
	2. 高齢者の自立の支援について
	(1) 栄養・運動・社会参加の課題について
	(2) フレイル予防の具体的な取り組みについて
質問事項3	下土狩文教線の安全対策について
具体的内容	令和元年度の市民意識調査では、三島駅周辺整備・歩道の整備・生活道路の整備共に満足度は年々減少し、不満率は約40%となっています。市民の方からは、西間門新谷線、谷田幸原線、下土狩文教線等の主要幹線道路の整備が、一向に進まないご指摘をいただいています。 下土狩文教線については、三島駅北口広場の渋滞緩和対策もあり、周辺道路の交通規制変更があるため、地元説明会を開催していただきました。しかし、市民の方からは、未だに安全対策への不安の声があります。 下土狩文教線の工事状況と、地元説明会で出された課題と安全対策を伺います。
	1. 工事内容と進捗状況、今後のスケジュールについて
	2. 市民説明会で出された要望と問題点に対する対策について
	3. 歩行者の安全対策について

# 一般質問発言通告書

発言順位 11 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

2020年 2月 18日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 12 番 杉澤正人



質問事項1	三島駅南口東街区再開発事業におけるタワーマンションの導入について
具体的内容	
<p>現在、三島駅南口東街区は、近く用途地域の変更、地区計画の変更を行い、都市計画法に言う都市計画事業の認可を県知事に申請しようとする段階に来ている。</p>	
<p>しかし、「広域健康医療拠点にふさわしい高次元都市機能を備えた、にぎわいの創出に寄与する再開発事業を推進」する(平成元年9月27日 三島市主催市民説明会 配布資料)と言いながら、その進捗の様態を見聞する限り、今だその内容が見えて来ない。</p>	
<p>「広域健康医療拠点」と聞けば、多数の医師が研究・治療に従事し、救急車両の配置・整備がなされ、その周辺にリハビリや健康増進施設が集合する様なイメージである。更に災害時の対応まで考えて、ヘリポートを備え、救急搬送者の収容、それらをITなどの活用によって一元的かつスピーディーに処理できるとなれば、まさに「高次元都市機能」を備えているとも言えよう。</p>	
<p>しかし、これまでの、市の説明及び事業協力者の提案した施設計画案や、建物配置を見ると、その実態は、「駅前高層タワーマンション開発」というものにはしか見えない。</p>	
<p>市民の財産(東街区駐車場)を提供する代わりに、事業者の開発利益(マンション保留床の販売益)とのバランスによって開発資金を賄うという手法にも問題が残るが、何と云っても、三島駅の当該地に「タワーマンション」がふさわしいかどうかの議論が十分になされていない感がある。</p>	
<p>以下、「タワーマンション」を当該地に建設する事に起因する将来のリスク、その対策等について、当局の認識を伺う。</p>	
1 当該開発予定地の中央部に高層タワー(約 90m)を建て、いわゆるマンション(居住施設)として入居者を募る(区分所有財産として売却)との構想と聞くが、更にこのタワーの低層階に健康医療施設を導入するとも聞く。現時点で想定される入居者(世帯数/所有者)数、健康医療施設の概要(予想される入居物件の種類と数)、また、その他付属設備・施設を含めて、この高層タワーの一部を市も区分所有者として取得する事になるのかどうか伺う。	
2 いわゆる集合住宅としての「マンション」の場合、タワー型であれ板状型であれ(マンションに限らず全ての建築物に共通するが)、経年劣化を防ぐため、定期的あるいは時期を見ての大規模修繕が必要となり、最終的には「破壊・撤去」となる。この際に、最も困難を生じるのは、「区分所有法」等をベースとする各種規定に則った、適切な管理が出来るかどうかである。三島市の玄関口とも言える三島駅の隣接地に、劣化・老朽化したマンションが出現しないように、市としてはどのような対策を考えているのか伺う。	
3 マンション管理の現状、今後の人口動態を踏まえたマンション住居者の動向(三島駅周辺)、空き家対策とも関係する当該東街区を中心とした街並みの維持管理について市の認識を伺う。	

# 一般質問発言通告書

発言順位 12 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和2年2月18日

三島市議会議長 大房 正 治 様

三島市議会議員 8 番 鈴木 文子



質問事項 1	GIGA スクール構想の推進について
具体的内容	
次世代を担う子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育として、教員が子どもたちと直接向かい合う重要性を踏まえつつ、一人一台のタブレット PC、そして超高速のネットワーク環境など ICT 環境の整備が必要です。	
1. 小・中学校における通信環境の整備について	
2. 教員用コンピューターの整備について	
3. 電子黒板の拡充について	
4. プログラミング教育用機器の拡充について	
5. 来年度の通信環境整備計画の有無について	
質問事項 2	感染症予防・対策・対応について
具体的内容	
政府は2月14日新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策①帰国者支援②国内感染対策③水際対策④産業対応⑤国際連携の5項目を示した。	
②国内でのウイルスまん延を防止するため、各都道府県に感染の疑いのある人を診断する外来と適切な助言をする相談センターを設置④打撃を受けた中小企業支援は、市民への周知が必要。他に、風疹の拡大防止と肺炎球菌ワクチン接種について伺う。	
1. 新型コロナウイルス感染症対策はHPで発信済ですが、対応も含め広報みしまにも掲載を	
2. 新型コロナウイルス感染症に関し、打撃を受けた中小企業相談や対応について	
3. 男性を対象とした風疹の抗体検査と予防接種について	
4. 高齢者肺炎球菌ワクチン接種について	
質問事項 3	SDGs の推進について
具体的内容	
SDGs とは、2015 年 9 月にニューヨーク国連本部で開かれた、国連持続可能な開発サミットにおいて採択され、貧困問題や教育をはじめ、気候変動やエネルギーなど 17 項目の持続可能な社会をつくるための国際目標、地球上の誰一人取り残さないために行動することを誓い、2030 年の目標達成をめざしている。民間企業、金融機関、学校、NPO などそれぞれの枠を超え、一人ひとり一歩踏み出すことが未来につながると考える。	
1. SDGs に対する見解を伺う	
2. 当局内部における普及啓発などについて	
3. 将来のビジョンづくりについて	
4. 各種計画への反映について	
5. 関係者との連携について	